

平成 29 年度における保全活動場所、活動目的、主な活動内容について以下に示す。

場所	活動目的	主な活動内容
①南西側草原エリア	多様性の高い二次草原の復元	○草刈 ・ネザサ、クズの除去など重点的に草刈を進め、草原エリアを拡大する。
②南西側草原エリア	多様性の高い二次草原の復元	○草刈 (H28 年度以前に作業実施済みのエリア) ・環境維持のための二次刈 (ネザサ等の草刈) を行う ○ネザサの抜根 (実証実験) ・市の工事発注による冬場の施工を予定する。具体的な手法 (位置、面積、抜根等) については、計画案を作成し利用調整会議等で検討する。
③尾根沿い竹林エリア	竹林の拡大による里山の植生への影響を防ぐ	○ハチクの伐採 ・周辺のアカマツ-モチツツジ林への侵食を防ぐ。
④園路沿い (尾根沿いの道等)	活動の安全性の確保	○園路沿いの危険木 (枯木) 伐採 ・会員の樹木伐採実習として一部実施予定。 ・実習が終わり次第、年次的に市で工事発注。
⑤府立大学実験林	アカマツ-モチツツジ群集からツツジ低木林を復元	○下草刈 ・下草刈り等の作業を行う。
⑥尾根先	広場づくり	○草刈、掘り起こし等 ・蛙など生物の生息環境に配慮して、草刈、掘り起こし、支障木撤去 (枯木、倒木) 等の処理を行う。
⑦園路沿い (大野池沿いの道)	保全活動のための通行ルート確保	○草刈 ・道沿いの草刈を行う (時期は調整中)。今後支障木についても伐採を行う。
⑧尾根沿い草原エリア	多様性の高い二次草原の復元	○草刈 (H28 年度以前に草刈を実施) ・ネザサ等の草刈を行う。
⑨中央部山道	保全活動のための通行ルート確保	○草刈 ・道沿いの草刈を行う (冬期)。今後支障木についても伐採を行う。

※上記以外に別途支障木についても伐採を行う

平成 29 年度に保全活動を行う場所 [保全活動計画 (案)]

⑦園路沿い (大野池沿いの道)  
 ・活動目的：保全活動のための通行ルート確保  
 ・活動内容：草刈

⑤府立大学実験林エリア  
 ・活動目的：アカマツ-モチツツジ群集からツツジ低木林を復元  
 ・活動内容：下草刈

⑧尾根沿い草原エリア  
 ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元  
 ・活動内容：草刈 (H28 年度以前に草刈を実施)

⑥尾根先  
 ・活動目的：広場づくり  
 ・活動内容：草刈

④園路沿い (尾根沿いの道等)  
 ・活動目的：活動の安全性の確保  
 ・活動内容：園路沿いの危険木 (枯松) 伐採

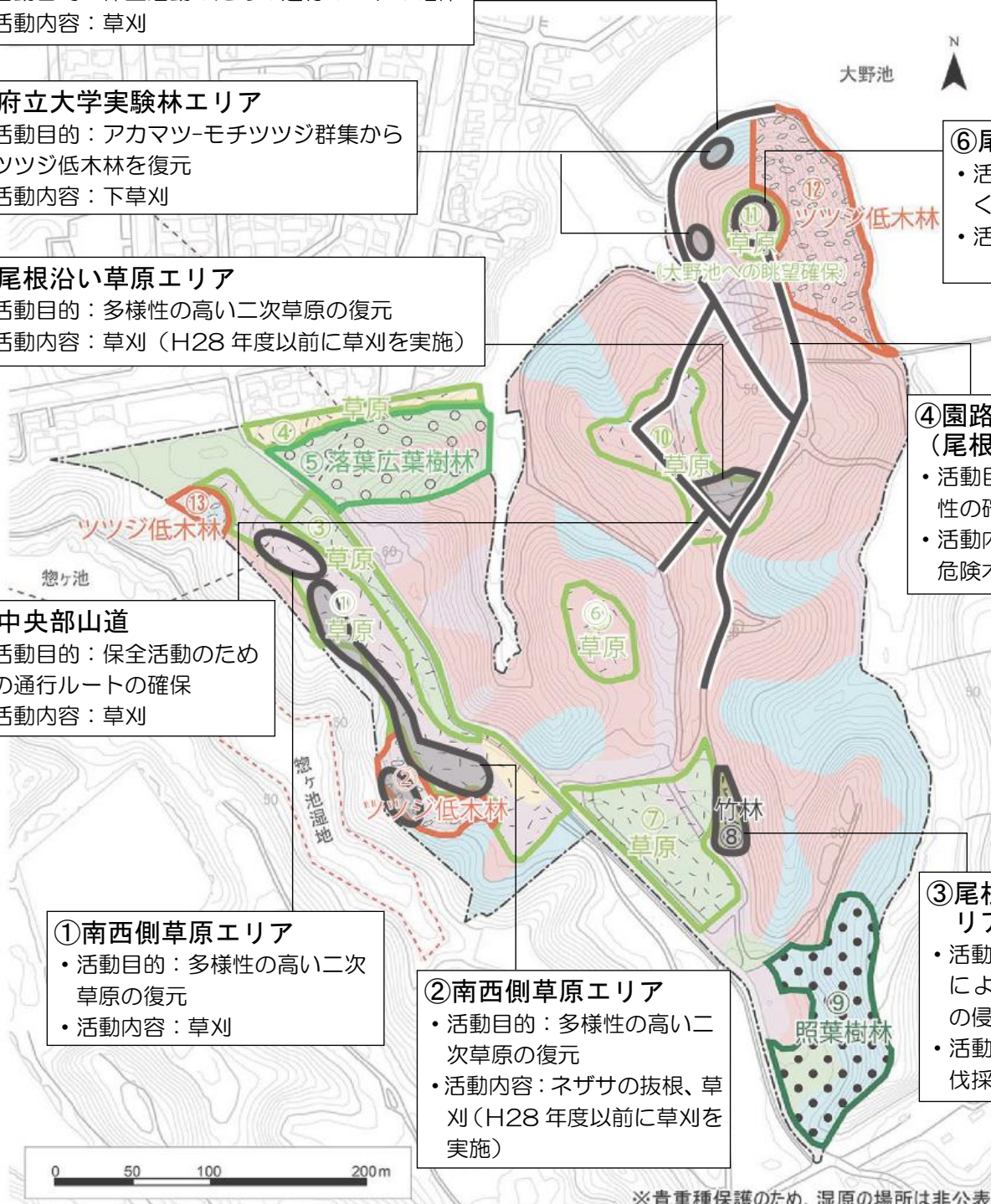
⑨中央部山道  
 ・活動目的：保全活動のための通行ルート確保  
 ・活動内容：草刈

④園路沿い (尾根沿いの道等)  
 ・活動目的：活動の安全性の確保  
 ・活動内容：園路沿いの危険木 (枯松) 伐採

①南西側草原エリア  
 ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元  
 ・活動内容：草刈

②南西側草原エリア  
 ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元  
 ・活動内容：ネザサの抜根、草刈 (H28 年度以前に草刈を実施)

③尾根沿い筋竹林エリア  
 ・活動目的：竹林の拡大による里山の植生への侵食を防ぐ  
 ・活動内容：ハチクの伐採



※貴重種保護のため、湿原の場所は非公表

<凡例>

◆現況の相観植生	◆植生の目標像
アカマツ-モチツツジ群集	草原
コナラ群落	ツツジ低木林
アラクソ群落	照葉樹林
アベマキ群落	落葉広葉樹林
ハチク群落	竹林
ネザサ群落	その他 里山風景区 アカマツの立ち枯れや幼木、アラカン、トウネスミモチなどの整理によって二次林を保全するエリア
セイタカアワダチソウ群落	
市街地	

H29 保全活動 活動場所

	新規活動場所 等
	H28 年度以前に草刈を実施した場所 (2~3 度目の草刈)